

ありかどとう

清音小学校だより



No.13
令和7年11月20日
校長 藤本千登世

一人一人が輝き、成長が見られた清音っ子発表会

11月15日、清音っ子発表会を行いました。広い体育館で、大勢の人の前での発表に子ども達は緊張したことと思いますが、勇気を出して声を出す姿や友達と協力する姿に成長を感じました。一人一人が輝き、達成感を味わうことができた発表会でした。ご参観ありがとうございました。清音小カレーも完売しました。ご協力ありがとうございました。



くじらとの旅を元気いっぱい音楽劇で表現しました。



いろんなリズムに変身させ、笑顔で楽しく演奏しました。



音楽劇にいろんな教科の学習が入っていました。



会場を巻き込んでのノリノリの「学園天国」の合奏でした。



息の合った縄跳びやダンスで会場を楽しませてくれました。



迫力ある出し物に会場は大盛り上がり。さすが最高学年!

読書は心の栄養です～清音小読書月間～

11月は清音小の読書月間です。図書委員会主催の取組は、読書スタンプ、読書くじ、紙芝居(6回)などです。この期間は貸出冊数が3冊になり、週2回業間休みも貸し出しがあるため、子ども達はたくさんの本と出合うことができます。

また、読書郵便は、はがきで友達におすすめの本を紹介します。必ず1通ははがきが届き、届いたら必ず返事を書きます。友達のおすすめの本を手に取ってみることでしょう。



紙芝居楽しいね

読書はいいですよね。読書は時間や空間を超えて、いろいろな世界に遊ぶことができます。心や知識が豊かになります。読解力が付きます。さらに、1冊の本が人の人生を左右することもあります。私は小学5年の時、「二十四の瞳」(作者:壺井栄)を読み、教師を志すことに決めたのです。

子ども達には「偉人の話」も勧めたいです。偉人の生涯には学ぶことや感銘を受けることがたくさんあるからです。「**読書は心の栄養**」です。秋の夜長、ご家庭で読書や読み聞かせの時間をとってみてはいかがでしょうか。